



2005年1月期

(第54期)

決算説明

トミタ電機株式会社

2005年3月28日



目次



1 . 会社概要

2 . 2005年1月期 決算概要

3 . 2006年1月期 計画



1 . 会社概要

商 号	トミタ電機株式会社
本店所在地	鳥取県鳥取市幸町 1 2 3 番地
営 業 品 目	フェライトコア及び電子部品の製造並びに販売
設立年月日	昭和 3 5 年 2 月 5 日
資 本 金	1 9 億 6 , 6 8 1 万円
代 表 取 締 役 社 長	神 谷 哲 郎
取 締 役	林 武 雄
	下 田 仁 史
	澤 田 寛 二
常 勤 監 査 役	松 本 栄 一
監 査 役	森 岡 浩 一 郎
	大 村 善 彦



2 . 2005年1月期 決算概要



2005年1月期 連結業績

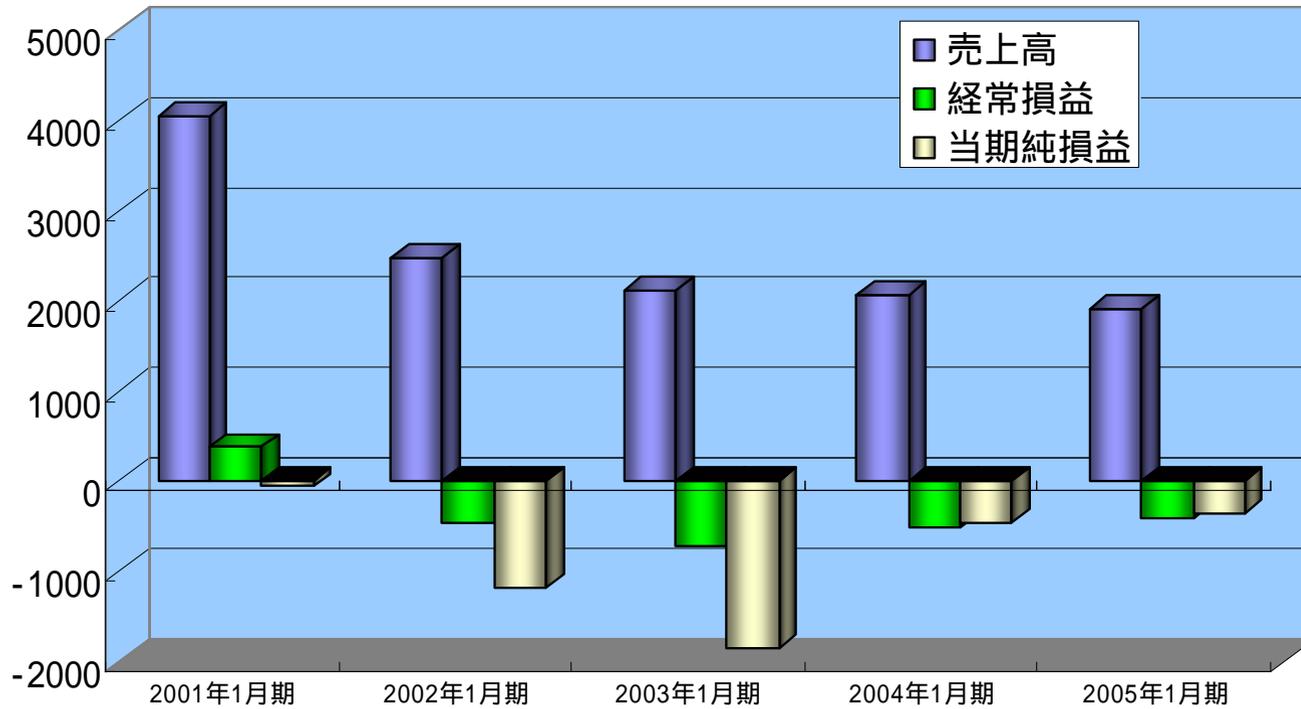
(単位：千円)

	2004年1月期	2005年1月期	増減	前年同期比
売上高	2,060,259	1,907,786	152,473	92.6
営業損益	362,948	524,991	162,042	144.6
経常損益	506,182	402,440	103,741	79.5
当期純損益	467,126	353,102	114,024	75.6



業績比較（連結）

(百万円)





2005年1月期 業績（単体）

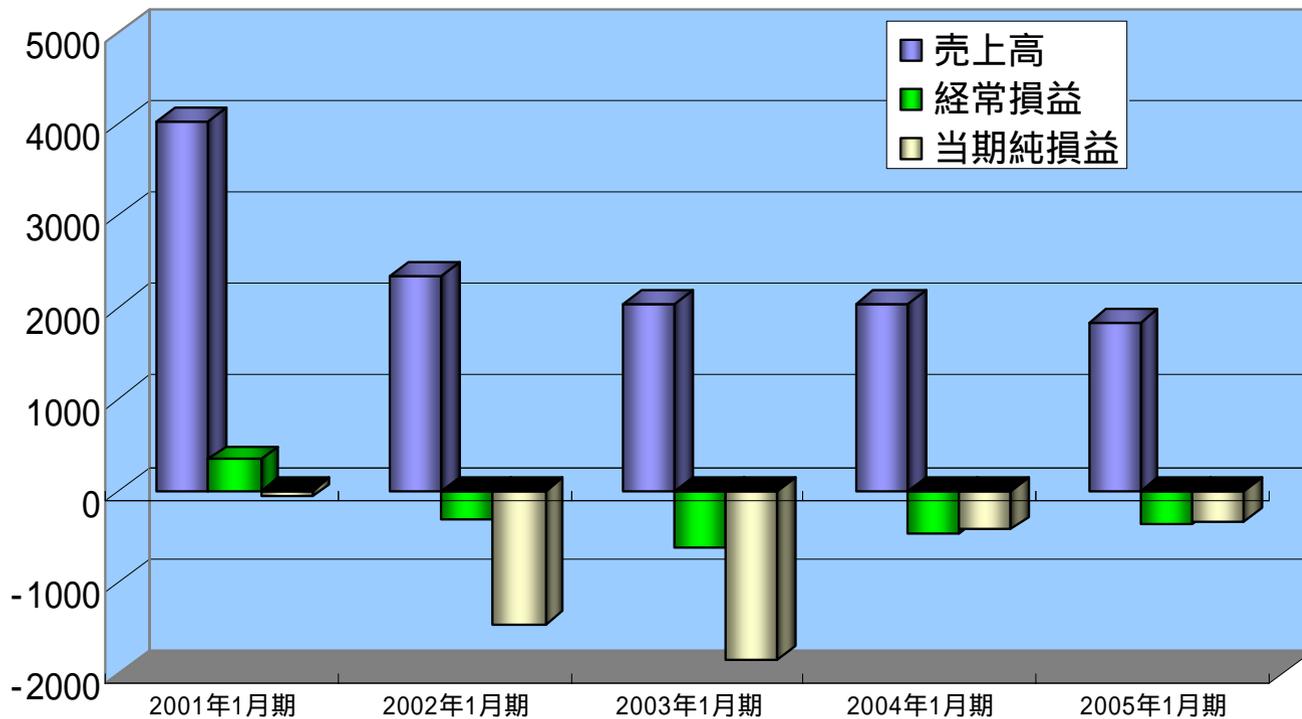
（単位：千円）

	2004年1月期	2005年1月期	増減	前年同期比
売上高	2,040,078	1,823,291	216,786	89.4
営業損益	387,587	524,067	136,479	135.2
経常損益	463,330	352,299	111,030	76.0
当期純損益	421,701	337,354	84,346	80.0



業績比較（単体）

(百万円)





決算概要

当社グループ(当社及び連結子会社)は小型フェライトコアの事業構造を軸に、デジタル機器向けのフェライトコア並びにコイル・トランス製品を主体に、東アジア市場の新規開拓に向けた拡販活動の諸施策を推し進めるとともに、徹底した費用削減に努めましたが、中国現地メーカーの電子材料分野への参入加速が市場価格の下落に一段と追い討ちをかけていることや、期半ば以降のデジタル機器需要減速の波及に伴うフェライトコアの受注減少や、間断のない価格下落並びに想定外の円高の影響で、国内外とも厳しい事業展開となりました。



決算概要の主要要因

売上の減少要因

- ・市場価格の下落
- ・期半ば以降のデジタル機器需要の減速

損失の要因

- ・操業効率の低下による売上原価率の増加
- ・期半ば以降の円高



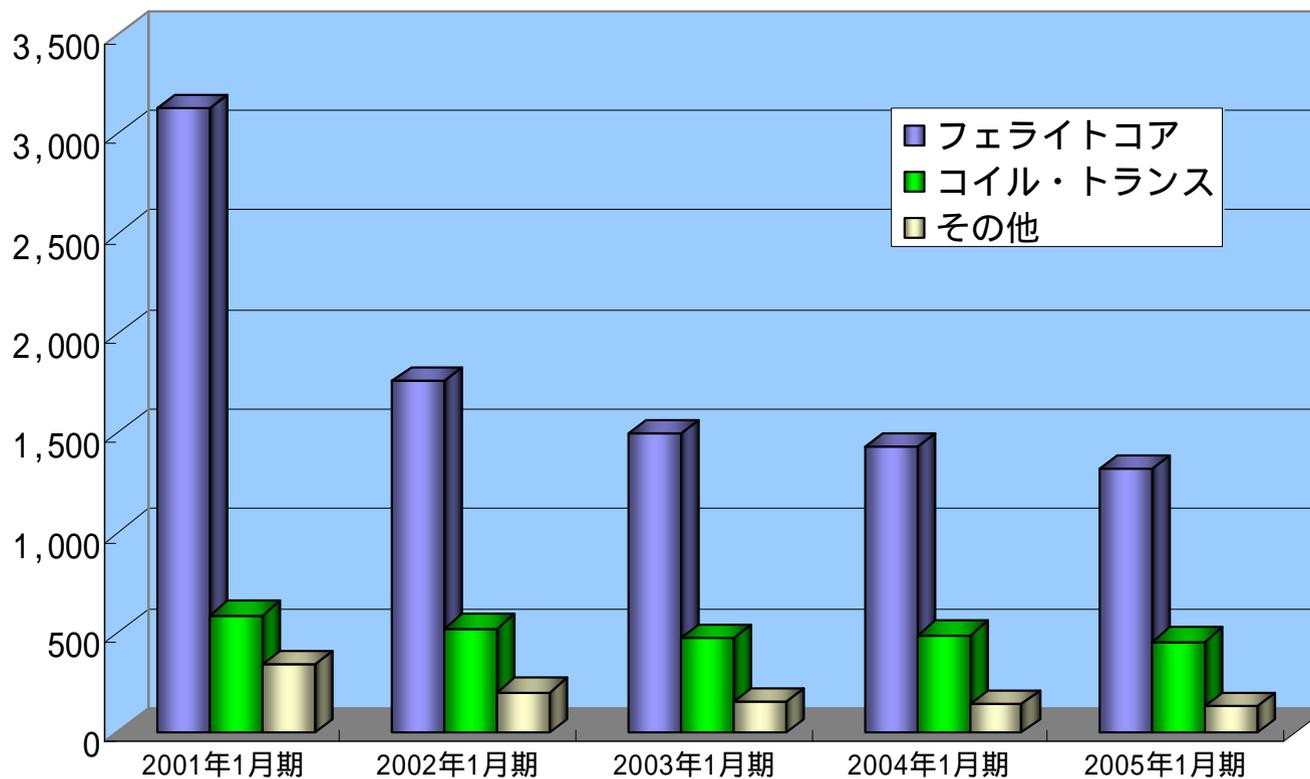
2005年1月期 連結 製品別売上高

(単位：千円)

	2004年1月期	2005年1月期	増減	前年同期比
フェライトコア	1,427,547	1,319,817	107,730	92.5
コイル・トランス	489,811	455,796	34,014	93.1
その他	142,900	131,171	11,728	91.8
合計	2,060,259	1,907,786	152,473	92.6



製品別売上高（連結）





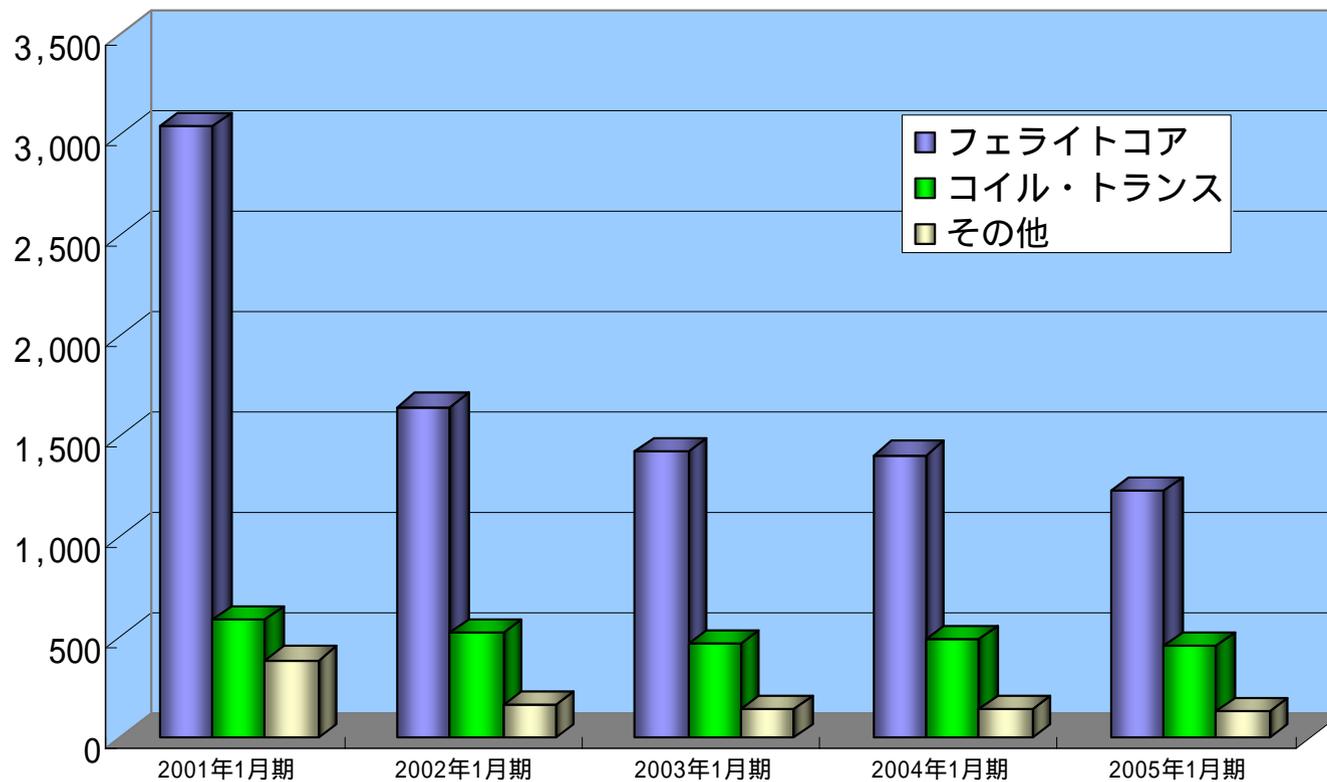
2005年1月期（単体）製品別売上高

（単位：千円）

	2004年1月期	2005年1月期	増減	前年同期比
フェライトコア	1,408,407	1,231,821	176,585	87.5
コイル・トランス	490,158	456,143	34,014	93.1
その他	141,512	135,326	6,186	95.6
合計	2,040,078	1,823,291	216,786	89.4



製品別売上（単体）





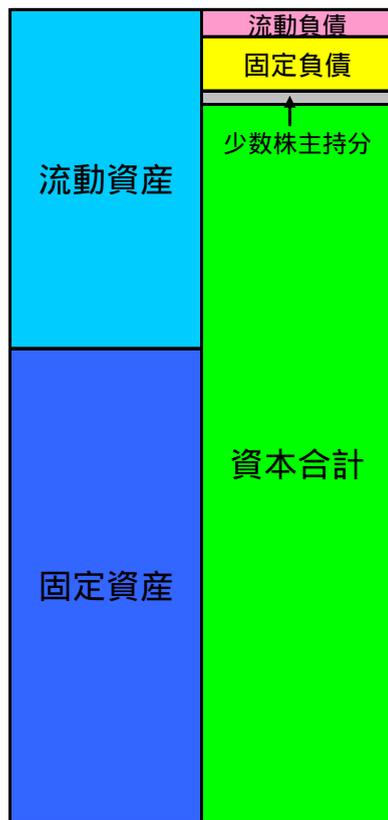
2005年1月期 連結貸借対照表

(単位：千円)

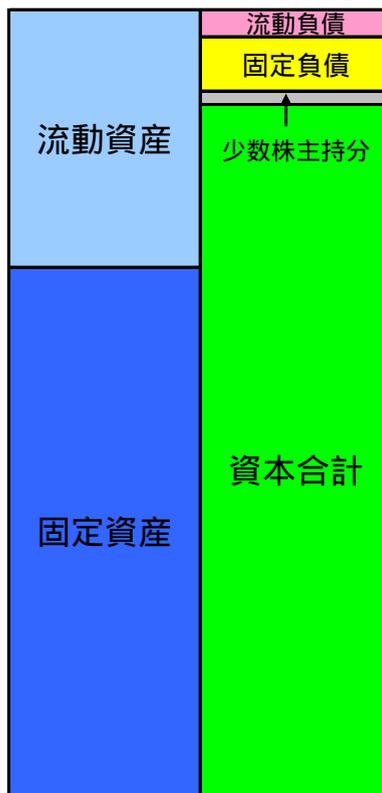
	2003年1月期	2004年1月期	2005年1月期
(資産の部)			
流動資産	4,950,476	3,804,548	2,746,420
固定資産	7,008,253	7,774,662	8,410,354
資産合計	11,958,729	11,579,210	11,156,774
(負債の部)			
流動負債	469,763	405,932	346,766
固定負債	841,494	866,636	852,007
負債合計	1,311,258	1,272,568	1,198,774
(少数株主持分)			
少数株主持分	92,931	93,186	105,693
(資本の部)			
資本合計	10,554,540	10,213,455	9,852,306



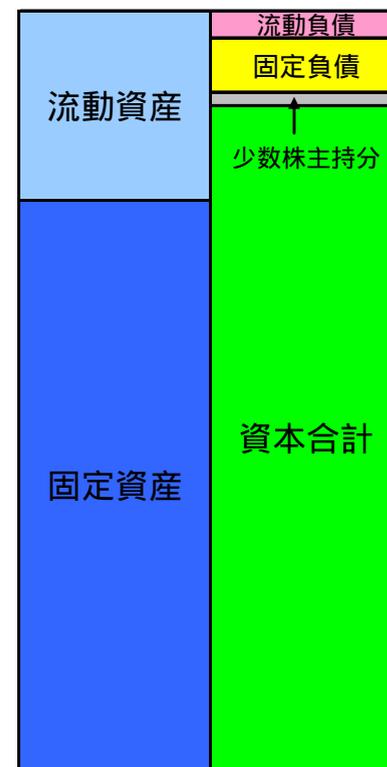
連結貸借対照表の推移



資産 負債・資本
2003年1月期



資産 負債・資本
2004年1月期



資産 負債・資本
2005年1月期



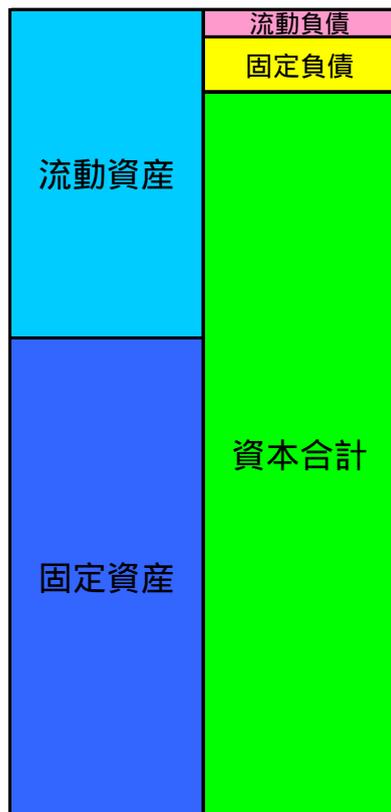
2005年1月期 貸借対照表（単体）

（単位：千円）

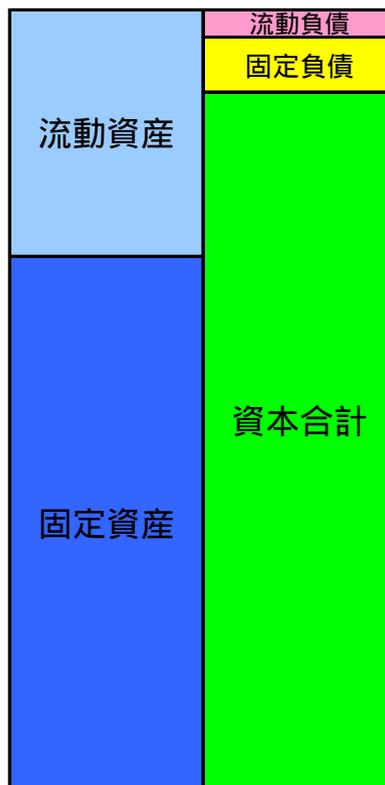
	2003年1月期	2004年1月期	2005年1月期
（資産の部）			
流動資産	4,751,063	3,490,149	2,392,325
固定資産	6,971,561	7,895,589	8,610,736
資産合計	11,722,625	11,385,739	11,003,062
（負債の部）			
流動負債	381,065	370,533	300,701
固定負債	841,494	866,636	852,007
負債合計	1,222,560	1,237,169	1,152,708
（資本の部）			
資本合計	10,500,065	10,148,569	9,850,353



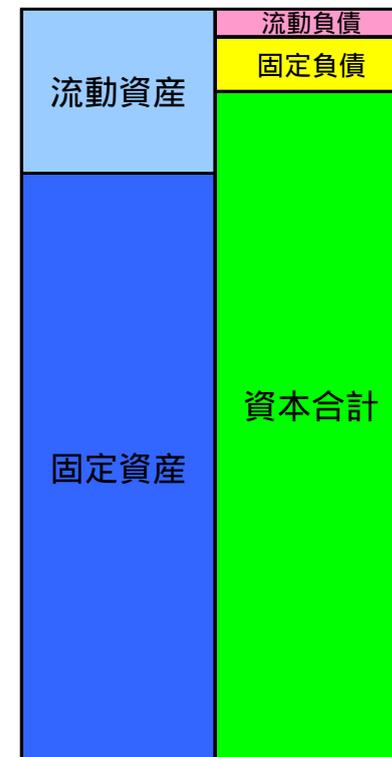
貸借対照表（単体）の推移



資産 負債・資本
2003年1月期



資産 負債・資本
2004年1月期



資産 負債・資本
2005年1月期



技術開発状況

グローバル化した厳しい企業間競争を生き抜くために、より付加価値の高い製品開発を最重要課題として取り組んでおります。

主な技術開発強化課題

- ・ フェライト新材質開発
- ・ コイル・トランス設計開発

2005年1月期フェライトの新材質開発



2E2D材

- ・従来の2E2B材より μi の周波数特性を改良し、併せて、焼成プロセスの効率化を図り、量的な対応も可能とした材質

2H4G材

- ・広い温度領域(- 40 ~ + 85)において、DCバイアスインダクタンスの温度変化が少なく、高速LAN用パルストランスに適した材質

8A14材

- ・各種ケーブル用ノイズフィルターとして、従来の周波数を超えた数百MHzからGHz付近までのEMI対策を可能とした材質



3 . 2006年1月期 計画



業績見通し(通期)

(単位：千円)

連 結	2006年1月期	前年同期増減
売上高	2,238,681	330,895
営業損益	131,795	393,196
経常損益	24,297	426,737
当期純損益	3,327	356,429

(単位：千円)

単 体	2006年1月期	前年同期増減
売上高	2,114,202	290,911
営業損益	360,481	163,586
経常損益	156,736	195,563
当期純損益	161,816	175,538



対処すべき課題

当社グループ(当社及び連結子会社)は研究開発、特にフェライト材質開発及びコイル・トランス設計開発を強化徹底すると同時に、国内外の工場のあらゆるコストを徹底削減し、国内市場においては顧客の海外生産移転に伴う国内販売の落込みに対抗して、新たにコイル・トランス市場の獲得を図り、また海外市場においては中国での生産販売体制の一層の現地化を促進し、低価格戦略を徹底推進することにより市場奪回と受注拡大を図る所存でございます。

最重点強化促進課題



- ・ 材質開発のスピードアップ
- ・ コイル・トランスの設計開発のスピードアップ
- ・ 攻めのコストダウンによる利益創出



トミタ電機株式会社

(J A S D A Q 6 8 9 8)

この資料に記載された業績見通しは作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。